

## 仕様

商品名	エアネックス400（品番：EB-1021AC4E-WH）
本体寸法	W145×D230×H460(mm)
光触媒反応管数	4
最大風量	2.4 [m³/min]
質量	約 8 [kg]
消費電力	33[W]（最大 38[W]）
電源	単相AC100V 50/60Hz (DC12V/5A)
機能	自動モード、風量切替（弱・中・強・ターボ） 空気モニター表示、照度切替表示
適用床面積※1	約 30 m²（～18畳）
VOC処理推奨適用床面積※2	約 20 m²（～12畳）

※1 適用床面積は、最大風量をもとに一般的な居室空間で算出したものです。

VOC濃度の高い空間や天井の高い空間では適さない場合があります。

※2 VOC処理推奨適用床面積は VOC ガスを処理する場合の目安の床面積です。複数回装置内部に VOC ガスを取り込みながら空間の濃度を下げていくことを考慮し弊社独自で算出したものです。

※仕様や外観は、技術改善などにより予告なく変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。

## 消耗部品

品名	機能	交換の目安
リアクターユニット	光触媒・紫外線殺菌灯の反応器ユニット	1～3年 ※設置環境の VOC 濃度によって変わります。 ※除菌目的の場合の目安は 3 年です
HEPA フィルター	プレフィルター内蔵の集じんフィルター	1～2年 ※定期的なお手入れを推奨します（14 ページ参照）

※消耗部品の交換目安は環境によって変わります。 ※消耗部品の価格についてはお問合せください。

製造 アイクオーカ株式会社 〒811-2207 福岡県糟屋郡志免町南里 6-6-18

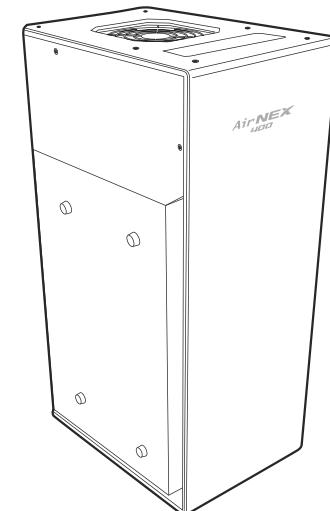
TEL : 092-410-5500 http://www.iquare.co.jp

FAX : 092-410-5501 MAIL : iqwww@quare.co.jp

## 空気浄化装置

## 取扱説明書

AirNEX  
400



お買いあげいただき、誠にありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

ご使用の前に「安全上の注意」を必ずお読みください。

この取扱説明書は、いつでも見ることができる所に保管してください。

# 安全上のご注意

商品及び取扱説明書には人への危害、財産への損害を防ぐため、お守りいただくことを説明しています。

## 表示の意味

 **警告** 「死亡、または重傷を負うおそれがあること」を示します。

 **注意** 「軽傷を負う、または財産に損害を与えるおそれがあること」を示します。

## 図記号の意味

 **禁止** 「してはいけないこと」を示します。

 **指示** 「しなければいけないこと」を示します。

## !**警告**

### 禁止

●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない  
感電の原因になります。

●電源コードを傷つけない  
電源コードを傷つけると、ショートや断線して感電や火災の原因になります。  
電源コードに対して、下記のことを守ってください。

- ・加工したり、傷つけたりしない。
- ・無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、重いものをのせたりしない。
- ・熱器具に近づけない。
- ・加熱しない。
- ・電源プラグを持たずに引き抜かない。
- ・持ち運び時に電源コードを引っ張らない。

●交流 100V 以外で使わない  
火災や感電の原因になります。

●コンセントや配線器具の定格を超える使い方をしない  
たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因になります。

### 指示

●電源プラグは、根元までしっかりと差し込む  
差し込みが不完全ですと、感電や火災の原因になります。

・電源コードや電源プラグが傷んだり、差し込みがゆるいコンセントは使わない。

●お手入れ、点検、移動の際は必ず運転を停止し、  
電源プラグを抜く  
電源プラグを差し込んだままにすると、感電やけがの原因になります。

●お客様自身で、分解や改造、修理しない  
火災や感電、けがの原因になります。  
修理はお買い上げの販売店にご相談ください。

#### ●下記の場所では使用しない

- ・可燃性ガスや金属製のホコリがある場所  
引火や本体への吸引による発火・発煙の原因になります。
- ・浴室など、高温・多湿・水のかかる場所  
漏電による火災や感電の原因になります。
- ・機械油や食用油の油成分が浮遊している場所  
本体にひびが入り、電源部やファン部分が露出し、感電やけがの原因になります。

●水につけたり、水をかけたりしない  
火災や感電の原因になります。

●アース線は、水道管・ガス管・電話線および避雷針には取り付けないでください。

●電源プラグのホコリなどは、定期的に乾いた布でふき取る  
ホコリがたまると、湿気などで絶縁不良になり火災の原因になります。  
・長時間使わないときは、電源プラグをコンセントから抜く。

## !**警告**

●異常、故障時は運転をただちに停止し、  
電源プラグを抜く

異常のまま運転を続けると、故障や感電、発煙、火災の原因になります。

#### <異常、故障の例>

- ・フィルター取り付け後、運転 / 停止ボタンを押しても運転しない。
- ・コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
- ・運転中に異常な音や振動がする。
- ・本体や電源プラグ、コードが異常に熱い。
- ・こげくさいなどのニオイがする。

●ペットが本体に尿をかけたり、電源コードをかじらないように注意する  
感電や発火の原因になります。

万一、上記のことが発生した場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

## !**注意**

### 禁止

●発煙タイプの殺虫剤を使うときは、運転しない  
蓄積した薬剤成分が、あとで使ったときに放出され、健康を損なう原因になります。

●吸入口や吹出口に、指や棒などをいれない  
けがや感電、故障の原因になります。

●お手入れの後は、水分を十分に取除いてから  
乾かし、ぬれたままでは使わない  
感電やけがの原因になります。

●燃焼器具と一緒に使うときは、こまめに窓を開けて換気する。本製品は、一酸化炭素を除去する機能はありません。換気が不十分の場合は、一酸化炭素中毒の原因になります。

●粉じんの多い場所で使用しない  
故障の原因になります

### 禁止

## 光触媒反応ランプについて

本製品は、光触媒反応のために本体内部に紫外線ランプを内蔵しています。また、除菌性能を高めるために 254nm の波長のランプを採用しているため肉眼でこの光を見ることは大変危険です。

●点灯中のランプは、絶対に直接または間接に肉眼で見ない。また、反射光も目に入らないようにする。  
目の痛みや視力障害の原因となります。

●紫外線を皮膚に直接または間接にあてない。  
皮膚の炎症を起こす原因となります。

●フィルターをはずしたまま運転しない  
紫外線がもれ、事故の原因となります。

●フィルター、リアクター（UV 管）を交換するときは電源プラグを抜いてください。  
交換パネルを開けると、安全スイッチが感知し電源をオフにしますが、万が一のため電源プラグを抜いてください。

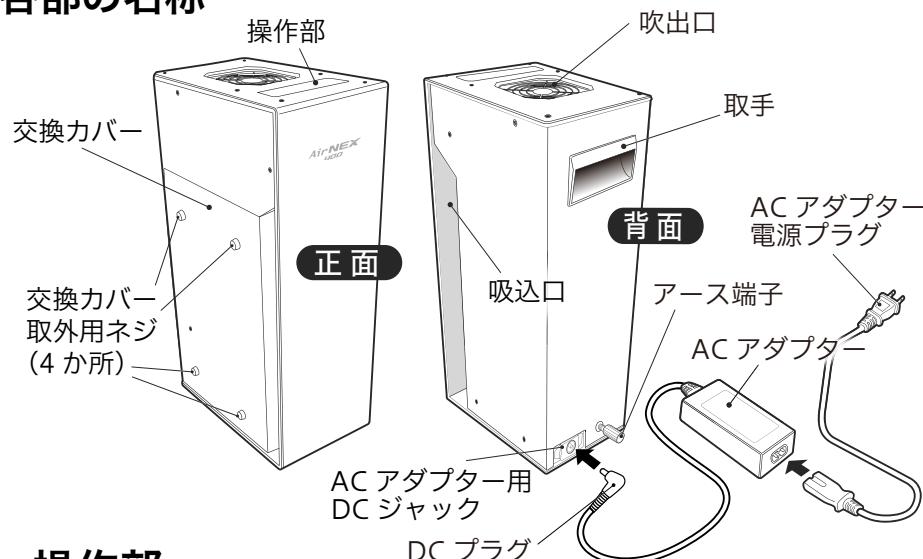
# はじめに

本装置でたばこの煙は処理できません。

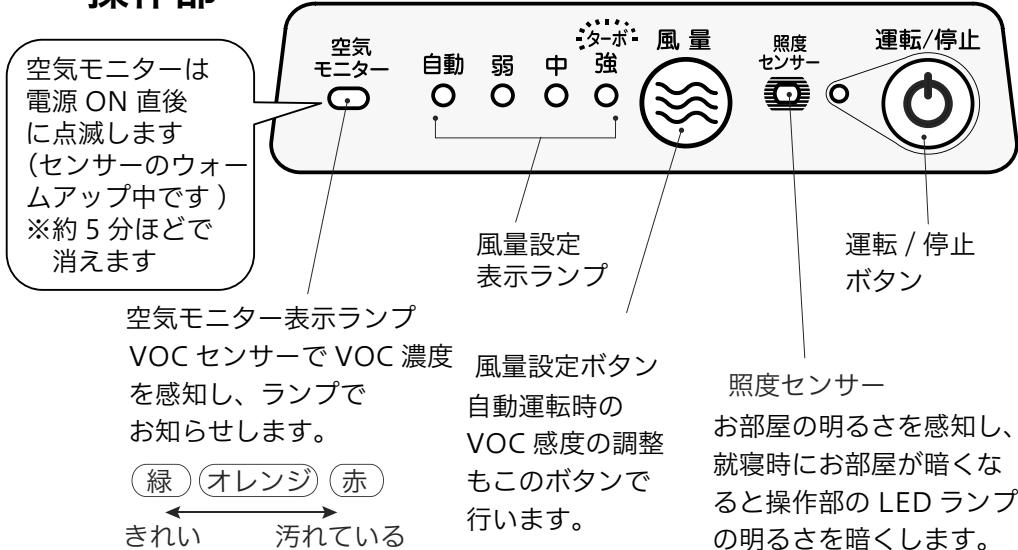
一酸化炭素は除去できません。

本製品は、極低濃度域までの VOC（揮発性有機化合物）や除菌・においての分解を目的としており、高性能の光触媒を使ったアクターユニットを内蔵しています。このため、たばこの煙を吸い込むと著しく性能が低下しますので、たばこの煙の処理には使用しないでください。

## 各部の名称



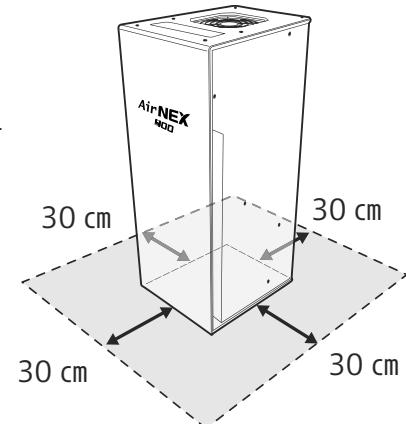
## 操作部



## 設置について

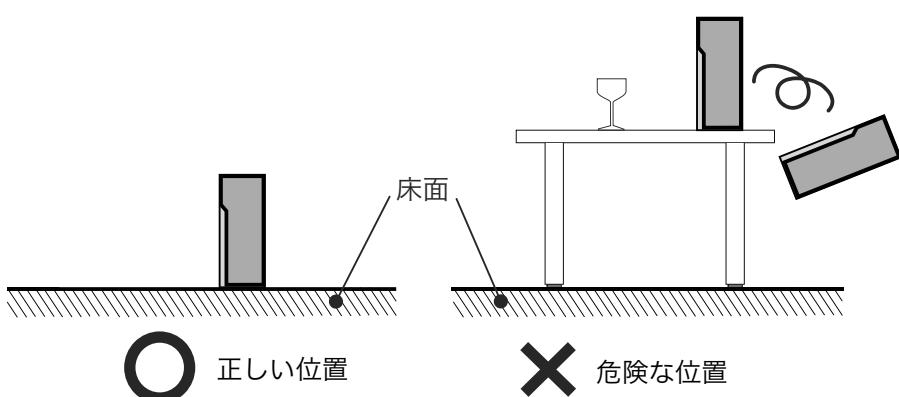
傾斜のある場所や不安定な場所に設置しないでください。

また、室内の空気を効率よく循環させるために、本体の前後、左右と上方を壁や家具、カーテンなどから約 30 cm 以上離して設置してください。



本製品内には電子部品があり、落下などの衝撃で破損するおそれがあります。また、落下によりけがをするおそれがあり、大変危険です。

必ず硬くて水平な床の上に置いて使用してください。テーブルや机の上などの、高い場所には設置しないでください。転倒したとき、けがをするおそれ、または本体が破損する場合があります。



# 使いかた

## 運転の開始、停止

24時間連続運転を行ってください。

- ① ACアダプターのDCプラグを本体のDCジャックに差し込む。  
ACアダプターの電源プラグをコンセントに差し込む。  
操作部のLEDランプが点灯します。

電界が気になる方はアース線を接続して  
お使いください。  
接続しなくても使用できます。

- ② 運転を始める

運転/停止

ボタンを押します。



空気モニターは電源ON直後に点滅します  
(センサーのウォームアップ中です)  
※約5分ほどで消えます

- ③ 風量を選ぶ

風量

ボタンを押します。

風量ボタンを押す毎に表示ランプが  
以下のように切り替わり風量が変化  
します。

ターボ運転  
強ランプが点滅  
素早く空気を  
きれいにしたい  
とき

強  
中  
弱  
自動

自動運転モード

- ④ 運転を止める

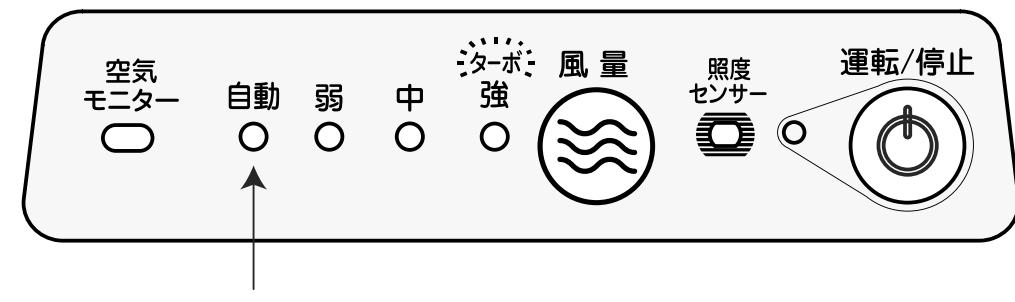
運転/停止

ボタンを押します。

## 自動運転について

自動モードとは、VOCセンサーが一定以上の濃度を感じたとき、自動的に風量を調整します。

VOCを処理した後、VOCの濃度が下がって、しばらくしてから自動的に風量が変わります。



次ページのVOCセンサー感度切替で、自動運転モード時のVOCの感度を  
切り替えることができます。

### ※VOCセンサーについて

VOC・・・揮発性有機化合物

(英語: Volatile Organic Compounds)

本機は、VOCセンサーを使用しております。VOCの種類によって  
は反応が異なります。化学物質やにおいにも反応することがあります。

## VOCセンサー感度切替

自動モードで運転しているときの、VOC検知の感度を設定します。

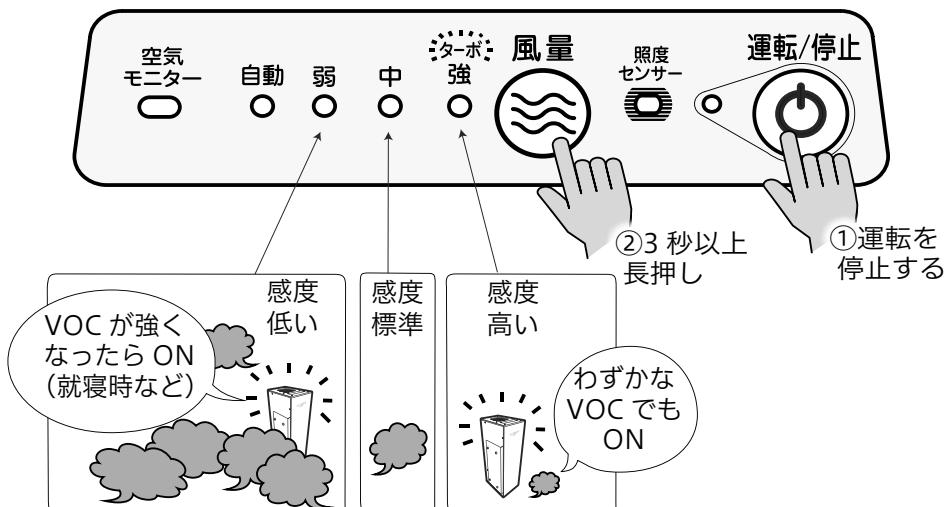
※感度が高い状態の場合、頻繁に作動することがあります。

生活環境に合った適切な感度で御使用下さい。

- ① 運転を停止します。

風量

- ②  ボタンを3秒以上長押しします。



風量ランプ（弱～強）が現在設定しているセンサーの感度を表示します。

（※工場出荷時は 中「標準」に設定されています。）

- ③  ボタンを押して VOC の感度を設定します。

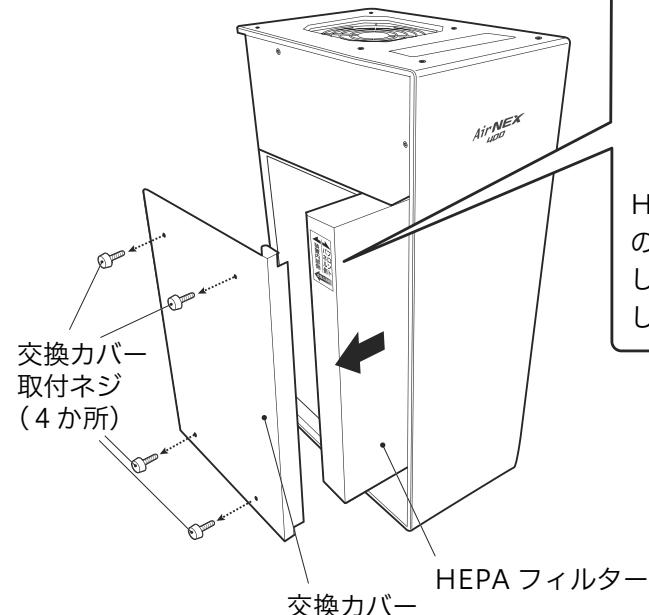
風量ボタンを押すたびに、感度が以下のように切り替わります。



運転/停止

- ④  ボタンを押し設定を完了します。  
(ボタンを押さないと、マイコンに変更が記憶されません)

## 集じんフィルターの交換方法



HEPA フィルター側面のシールを確認して新しいフィルターを挿入してください。

- ① 運転を停止して電源プラグを抜きます。
- ② 交換カバー取付ネジ（4か所）を外します。
- ③ 交換カバーを外します。
- ④ HEPA フィルターを交換します。

※このとき、フィルターの向きに注意してください。

- ⑤ 交換カバー、取付ネジを取り付けます。

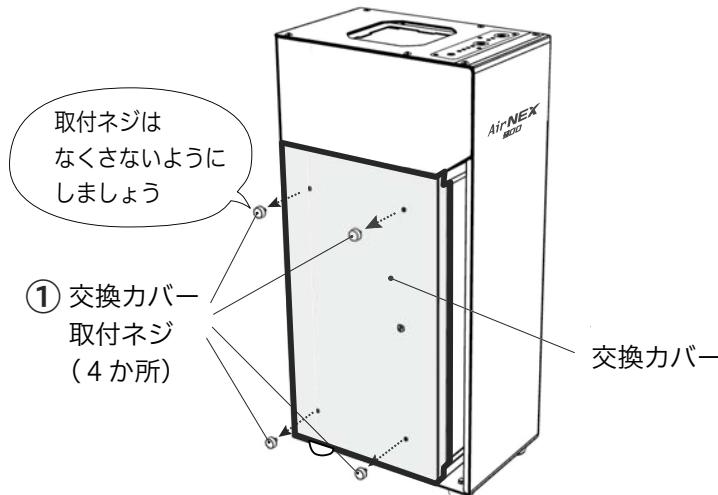


注意

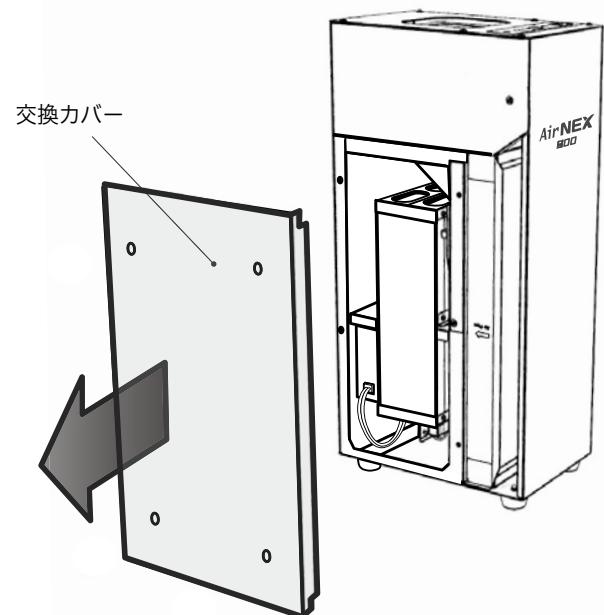
フィルターの交換時には必ず電源プラグを抜いてください。  
電源を入れたまま作業をすると本体内部の紫外線ランプが点灯する可能性があります。  
点灯中のランプを見ると目の痛みや視力障害の原因となる恐れがあります。

## リアクターの交換方法

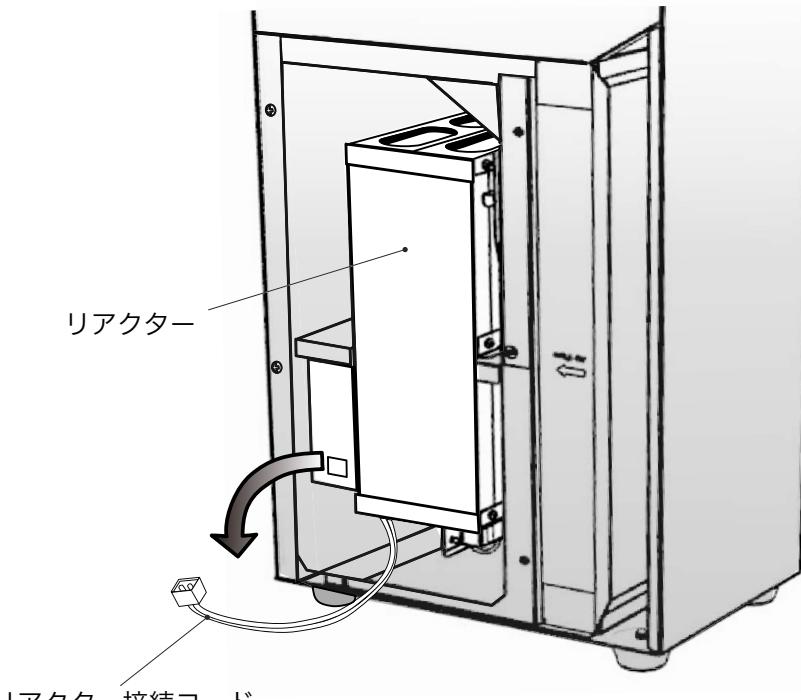
- ① 電源プラグを抜き、交換カバーの取付ネジ（4か所）を取り外します。



- ② 交換カバーを取り外します。



- ③ リアクター接続コードを取り外します。



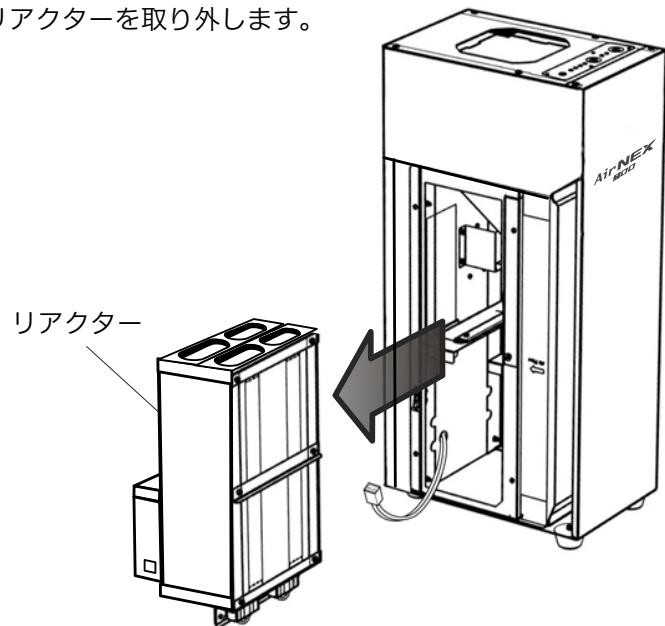
注意

リアクターの交換時には必ずリアクター接続コードを抜いた後にリアクターを引き出してください。

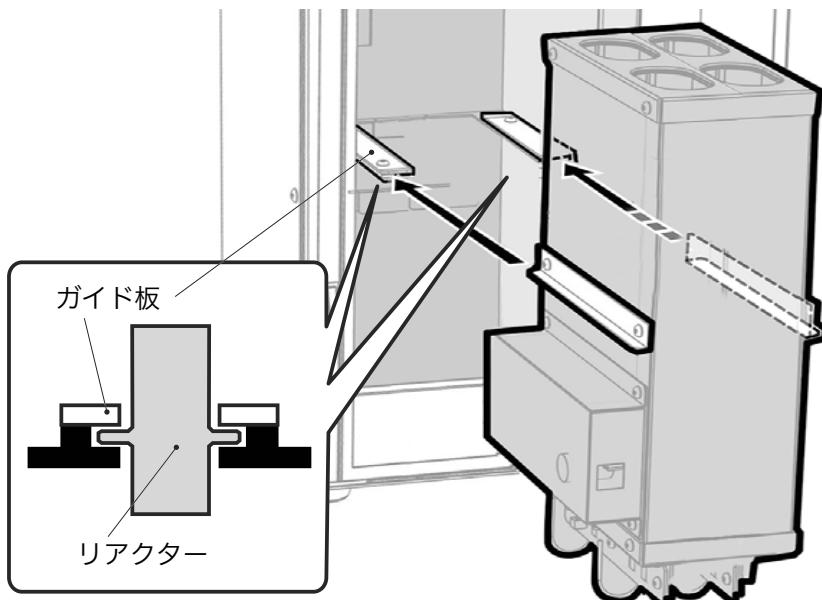
接続コードをつかけたまま、リアクターを引き出すと、コードが切れたりソケットが破損する恐れがあります。

交換時の交換カバーの取り外しを検知するスイッチがありますが、必ず電源コードを抜いてください。

④ リアクターを取り外します。



⑤ 新しいリアクターをガイド板に沿って挿入、取り付けます。

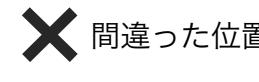
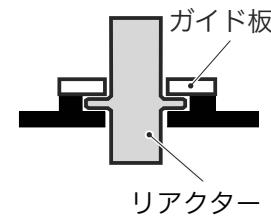


注意

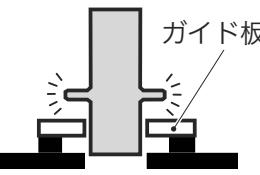
リアクターの取付時には、必ずリアクターが  
ガイド板に正しく装着されるようにしてください。



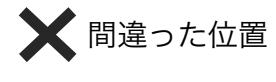
正しい位置



間違った位置



リアクターが  
ガイド板の上に  
乗っています

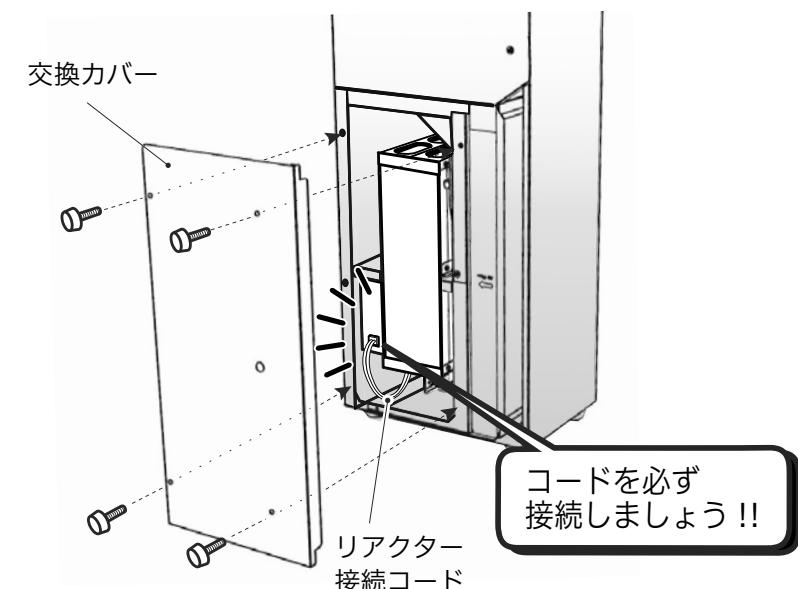


間違った位置



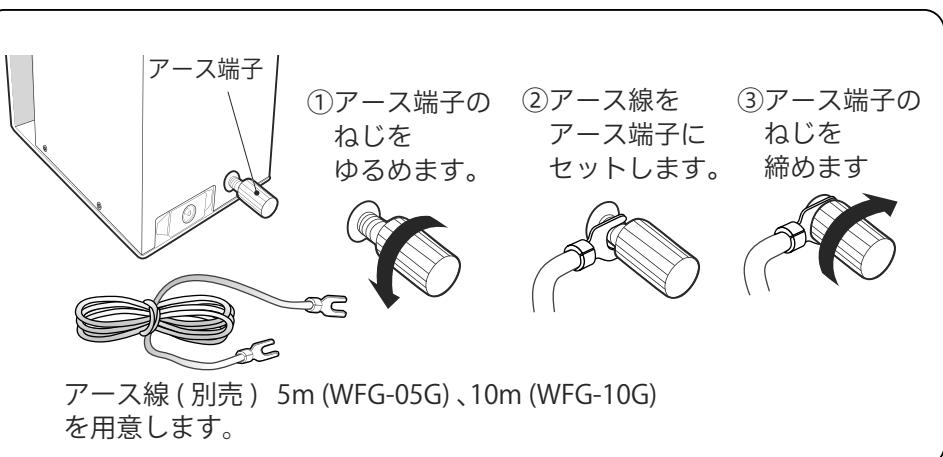
リアクターが  
斜めに乗って  
います

⑥ リアクター接続コードを取りつけます。  
交換カバーを取り付けます。



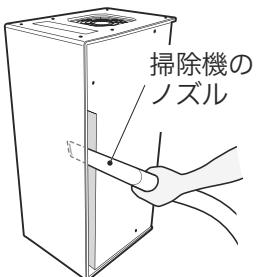
## アース接続の方法

アース線（別売）を接続してお使いください。  
本機は板金でできており、高い電磁波シールドの性能を持っています。  
アースによりシールド性能が向上します。  
(接続しなくても運転はできます。電界が気になる方はアースをつないでください)



## お手入れのしかた

- やわらかい布で本体のほこりを拭き取ってください。
- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を含ませた布で汚れをふき取ってください。
- 吸込口や吹出口付近のほこり等は掃除機のノズルなどで吸い取ってください。



## 保管のしかた

長期間使用しない場合は、性能劣化を防止するために、本体を清潔な袋などで覆ってください。  
※本体内に活性炭を使用しているため、保管中にVOCやにおいを吸着してしまう恐れがあります。

## 故障かな？と思ったら

動作しない (LEDが点灯しない)	電源コードは本体のDCジャックとコンセントにしっかりと差し込まれていますか? →電源コードをDCジャック及びコンセントに差し直してください。
本体のにおいが 気になる	本体の吸排気口やフィルターが汚れていませんか? →お手入れをして、本体の吸排気口やプレフィルターの汚れを取り除いてください。お手入れをしても改善しない場合はフィルターとリアクターを新しいものに交換してください。
勝手に動きだしたり 強弱が変わる	自動運転モードになっていませんか? (7ページ) →お部屋のVOCの強さによって、風量や電源のオン、オフを自動運転でコントロールしています。
操作パネルのLED が暗くなった	お部屋が暗くなると自動で暗くなります。 →就寝時にまぶしくないよう、お部屋の明るさを感じて自動的にLEDの明るさを暗くしています。

## エラーコードについて

	空気モニター点滅 → VOCセンサーをウォームアップしています。 ※約5分ほどで消えます
上記以外の時	センサーが故障しています ※手動(弱・中・強)運転できますが、自動モードは働きません)

### すべてのランプが点滅する場合

すべてのランプが点滅3回 	交換パネルがはずれています →すぐに交換パネルをつけてください
すべてのランプが点滅4回 	ファンが故障しています →すぐに停止、修理を依頼してください
すべてのランプが点滅5回 	紫外線ランプが故障しています →すぐに停止、修理を依頼してください